

山口県大島防災センターだより

山口県大島防災センター 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5066-5 TEL0820-79-1133

第20号
平成25年3月

東日本大震災から、二年が経過しました。地震は突然やってきます。皆さんも日頃の防災対策を再確認して災害に備えましょう。

避難場所・避難経路を確認しましょう

避難場所（高台等）を知っていることはもちろん大切ですが、そこにいたるまでの経路が安全かどうかを確認することも必要です。

地震、津波、風水害等それぞれの状況を想定しながら、避難場所と経路を確認しましょう。

（日頃の散歩の時でも、「もしも」を考えながらチェックしていると、いざという時に役に立ちます。）

避難経路を実際に歩く

日頃の防災意識が
身を助けます



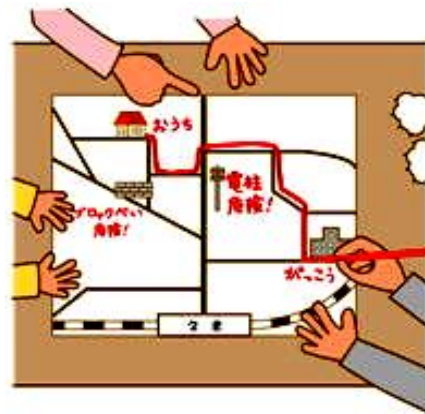
チェックすること

- ①避難場所（高台等）までの所要時間。
（実際に非常持出品を持って歩いてみる。）
- ② ハザードマップなどを参考に、津波・土砂くずれの危険地域を確認。
- ③危険な看板、橋、水路、電線、ブロック塀など災害時に危険になりそうな所を地図に書き込む。
- ④建物の倒壊等によって、想定していた避難路を断たれることもあるので、複数の避難経路を考えておく。
- ⑤家族と連絡が取れなくなった時のことを考えて、あらかじめ家族の集合場所を決めておく。



自分の防災地図を作ろう

おもての「チェックすること」の項目を地図に書き込んで、どの道を選べば避難場所まで安全にたどり着くことができるのかが分かります。自分なりの防災地図を作り、どこが危険でどこが安全なのかを確認することが重要です。



「大丈夫」その過信が命とい

「大丈夫」と大抵のことは、言ってしまいがち・・・でも、よく考えて！！その自信はどこからきてるの？自分を落ち着けるには効果的な言葉。しかし、その後きちんと行動しないと、助かる命も助からない。

最近の被害では、情報伝達や避難行動の遅れが被害を大きくしています。「避難場所は知っている」「自分だけは大丈夫」と思っていないですか？知っている、考えている。では、その次は・・・実際に歩いてみる！車で通過するのと、歩くのでは見える物が違ってきます。一度は自分の足でしっかりと避難経路を歩いて危険箇所等をチェックしてください。

来館者紹介

1月、2月 見学団体

高水しあわせ会

下松市西豊井民生委員児童委員協議会

の方々が来館されました。



町内及び近隣住民の皆さん。近くまでお越しの際は、一度来館してみてください。平常時(9時～17時)であれば、当センターは自由に入館して、展示物を見て体験することができます。また、出前講座もしていますので、各自治会の方々、興味のある方お気軽にお問い合わせください。

山口県大島防災センター Tel(0820)79-1133 Fax(0820)72-1166
なお、毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始は休館日となっています。

